

●市役所代表電話
☎0422-45-1151
代表電話ダイヤル後、交換手に各課の内線番号をお伝えください。

●困りごとの相談は **市民相談専用電話**
☎0422-44-6600

●あなたのご意見を **市民の声専用FAX**
FAX0422-48-2810

●子どもを見守る **安全安心メールの登録**
✉maam@req.jp
あてに空メールを送信してください

「みる・みる・三鷹」J:COMチャンネル武蔵野・三鷹(地デジ11チャンネル)第481回(8月7日～8月20日)
夏を乗り切る食生活!夏バテ・食中毒予防のポイント/第39回みたか商まつり
放送時間/月～日曜日 9:00 12:30 20:00 23:30
※8月20日(土)は放送時間を一部変更します(下記参照)。

むさしのFM 78.2MHz
「おはよう!三鷹市です」放送時間/月～金曜日 10:20～10:25
「三鷹くちこみテレフォン」放送時間/木曜日 9:45～9:55

人口と世帯 平成28年8月1日現在 ()内は前月との増減
住民登録者数:184,965人(124人増) 男:90,577人(46人増) / 女:94,388人(78人増)
世帯:91,917世帯(12世帯増)

三鷹の森ジブリ美術館 GHIBLI MUSEUM, MITAKA

新企画展示 「猫バスにのって ジブリの森へ」

開館15年を迎えた三鷹の森ジブリ美術館では、7月16日から新企画展示「猫バスにのって ジブリの森へ」を開催中です。今回の企画展示は、これまでに公開された14本の企画展示を一堂に集め、新たにアレンジが加えられたもので、同館の凝縮された15年を楽しむことができます。

最初に入り口をくぐると、そこは大きなネコバスの中。「ねこバスから見た風景展」(2011年)でみんなが夢中になった「大人も乗れるネコバス」が帰ってきました。座り心地は映画のようにふかふかで、窓からは映画「ハウルの動く城」の風景が見えます。ネコバスを抜けた先には「天空の城ラピュタと空想科学の機械達展」(2002年)で展示されたオーニソプター(鳥型飛行機)も再登場しました。同館の中島清文館長は「これまでにあった企画展示を漏れなく紹介するとともに、人気のあった展示に焦点を当てました。この機会にぜひお楽しみください」と、見どころを紹介しています。



©Museo d'Arte Ghibli
©Studio Ghibli

約2カ月の休館を経て、色鮮やかにリニューアルした同館。屋上庭園には新たに映画「天空の城ラピュタ」の舞台をイメージした一角も登場し、みなさんのお越しをお待ちしています。

☎平成29年5月まで(予定)

※同館への入場は日時指定予約制。チケットはローソン(一般)または、みたか観光案内所(三鷹市、武蔵野市、小金井市、西東京市の在住・在学・在勤者を対象にした市民特別枠)で販売。くわしくは同館ホームページ [HP](http://www.ghibli-museum.jp/) <http://www.ghibli-museum.jp/>をご覧ください。

☎同館ごあんないダイヤル ☎0570-055777(火曜日を除く午前9時～午後6時)

市民・近隣市民1,200組を抽選でご招待

☎ コミュニティ文化課 ☎内線2515

◆10月1日(土)「三鷹市民デー」

☎ 市内在住の方、4人1組で600組

◆10月2日(日)「三鷹市民および近隣市民デー」

☎ 三鷹市と近隣市(武蔵野市・小金井市・西東京市・調布市・府中市)在住の方、4人1組で600組

☎ 8月17日(水)(必着)までに、はがきで代表者の必要事項(11面参照)、入館者全員の氏名・年齢、希望日(近隣市民は10月2日のみ)、希望入館時間(午前10時、正午、午後2時、4時のいずれか)を「〒181-8555 コミュニティ文化課」へ
※同一グループでの複数枚の申し込みや、必要記載事項に誤りや不備がある場合は無効です(1人での申し込みも可)。3歳以下のお子さんは人数に含みませんが、氏名・年齢はご記入ください。

※当選者には9月中旬に招待状を郵送します(電話での当否確認は不可)。当否の返信を希望する場合は、往復はがきでお申し込みください。

考古学講演会

「人骨は語る三鷹の歴史」

☎ 生涯学習課 ☎内線3315

講 ①国立科学博物館人類研究部の梶ヶ山真里さん、②三鷹市遺跡調査会事務局長の沼上尊一さん



三鷹市の遺跡紹介キャラクター「ねこごびん」

市内には、古墳時代後期から奈良時代までの横穴墓が数多く存在し、内部からは埋葬された人骨が発掘されています。これらの人骨は保存状態の良から、関東地方の古墳時代を特徴付ける大変貴重な存在として国立科学博物館のホームページでも公開されています。

講演会では、最新の研究法や調査状況をもちに、人骨から読み取れる三鷹の歴史を学びます。

☎ ①古墳は意外と語る!! 9月3日、②1300年前の三鷹市民(横穴墓埋葬人骨は語る!!) 9月17日、いずれも土曜 午前10時

☎ 各日80人

☎ 三鷹産業プラザ

第49回 三鷹阿波おどり

三鷹の夏の風物詩「三鷹阿波おどり」が今年も開催されます。市内外、約35の連(グループ)が華麗な踊りを披露します。ぜひ、ご来場ください。

☎ 三鷹阿波踊り振興会

☎ 三鷹南口駅前商店街(中央通り)

☎ 同振興会事務局 ☎49-3111

(三鷹商工会内)

8月20日(土)
21日(日)



昨年の三鷹阿波おどりの様子

20日 開会式……午後5時35分
踊り開始……午後6時
終了……午後9時

21日 踊り開始……午後6時
表彰式……午後8時35分
終了……午後9時

◆写真コンクールにご応募ください

当日撮影したスナップ写真をお寄せください。応募方法などくわしくは同事務局ホームページ [HP](http://awaodori.mitaka.ne.jp/) <http://awaodori.mitaka.ne.jp/>をご覧ください。

◆「三鷹阿波おどり」を自宅のテレビからもご覧になれます

当日の様子はJ:COMチャンネル武蔵野・三鷹(地デジ11チャンネル)で生中継します。

☎ 8月20日午後7時～9時

このため、同チャンネルで放送している三鷹市テレビ広報「みる・みる・三鷹」は、当日の放送時間を一部変更します。

通常の放送時間	9:00	12:30	20:00	23:30
8月20日の放送時間	9:00	12:30	15:00	23:30

☎(株)ジェイコム武蔵野三鷹 ☎76-2208、市秘書広報課 ☎内線2133

水車で精米・製粉作業を公開します

☎ 生涯学習課 ☎内線3316

東京都有形民俗文化財に指定されている「大沢の里水車経営農家」では、文化5(1808)年ごろから昭和40年代まで実際に使われていた営業用水車「新車(しんぐるま)」を公開しています。

通常は水輪のみ稼働している状態ですが、下記の期間限定で、きねや臼などの水車機構(写真)を稼働します。水車を使用して精米・製粉を行う様子をぜひご覧ください。見学者には、精米したお米を後日同施設または同課窓口で引き換えられる「引換券」をお渡しします。

☎ 10月8日(土)～10日(日)午前10時～正午、午後1時～4時

☎ 各日100人(午前40人、午後60人)

※未就学児は混雑状況により見学できない場合があります。ソバの実をひくため、アレルギーのある方はご注意ください。

☎ 同施設(大沢6-10-15) ☎ 高校生以上100円

☎ 9月11日(日)(必着)までに、はがきまたは電話、ファクス、電子メールで必要事項(11面参照)・人数(5人まで)・希望日時(午前・午後も選択、第2希望まで)を「〒181-8505 生涯学習課」・ ☎内線3315・ ☎ FAX 45-1167・ ☎ shogai@city.mitaka.tokyo.jpへ(申込多数の場合は抽選)

◆市民解説員を募集中—養成講座を開催します

見学者への解説活動をしてくださる市民解説員を養成するための講座です。水車の仕組みや歴史について楽しく学んで、その魅力を伝える活動をしてみませんか。

☎ ①世界と日本の水車をくらべて=8月21日、②峯岸水車を中心に=9月25日、いずれも日曜日午前10時～正午(全2回)

☎ 全回参加できる方20人 ☎ ①教育センター、②同施設

☎ 産業者考古学会理事・水車と臼分科会代表の小坂克信さん

☎ 8月18日(木)までに必要事項(11面参照)を同課 ☎内線3316・ ☎ shogai@city.mitaka.tokyo.jpへ(先着制)

発掘調査速報展「井の頭池遺跡群A

—今年度の調査から—

☎ 生涯学習課 ☎内線3314

4月～7月末に井の頭四丁目で行った遺跡発掘調査の成果を速報します。旧石器時代や縄文時代早期(約9,000年前)の大集落に関する発掘について、調査状況をパネル展示で紹介するとともに、出土したばかりでまだ土が付いている状態の土器・石器類を展示します。発掘したての生の縄文遺跡をぜひお見逃しなく。

☎ 8月9日(火)～9月4日(日) ☎ 三鷹図書館(本館)